

考古博 de
セミナー
講座

4月▶8月

次回は
平成30年3月11日(日)
第72回「大善寺周辺と勝沼宿を歩く」
(1ヶ月前から予約受付開始)

史跡文化財セミナー

第70回「市之瀬台地を歩く」

『眺望の大遺跡群』南アルプス市平岡の市之瀬台地で歴史散歩。石積みの技が光る棚田の原風景を、満開のアヤメが彩っていました。

第71回「芦川の里を歩く」

『兜造民家』が立ち並ぶ全国でも有数の古民家群のある芦川。かつて口留番所(関所)を中心に栄えた上芦川と商人の宿場町・鶯宿の集落を散策しました。

5月14日(日)



7月30日(日)



考古学講座「石の文化史」

旧石器時代から現代にいたるまで、道具・建築用材・儀礼・宗教など幅広く活用されてきた石の文化史について、専門家それぞれの視点から解説していただきました。

- 第1回 6月3日(土)「石材の獲得・流通・使用～旧石器・縄文の生活と石～」柴田 亮平 氏(県埋蔵文化財センター)
- 第2回 6月24日(土)「配石遺構と石棒～縄文時代の信仰と石～」村松 佳幸 氏(北杜市教育委員会)
- 第3回 7月15日(土)「山梨の石室と積石塚」熊谷 晋祐 氏(県埋蔵文化財センター)
- 第4回 8月5日(土)「自慢の石積み技術」久保田 健太郎 氏(県教育庁学術文化財課)

館長講座「戦国大名武田氏の考古学」

考古博物館長・萩原三雄による講座。戦国大名武田氏の足跡を、最新の考古学研究に基づき全6回にわたって講演します。

- 第1回 4月22日(土)「武田信玄と創作された史跡」
- 第2回 6月17日(土)「新府城炎上と武田勝頼」
- 第3回 8月12日(土)「景德院武田勝頼の墓所の発掘」

風土記の丘 de
ものづくり
教室

4月▶8月

原始古代の技に学ぶ(16歳以上対象)

- 4月1日(土)・2日(日)「石膏で青銅鏡作り」
- 5月13日(土)「琥珀で勾玉作り」
- 5月20日(土)・6月3日(土)「陶器作り」
- 7月9日(日)・22日(土)「青銅器・銅鐸作り」
- 8月6日(日)・19日(土)「トンボ玉作り」

チャレンジ博物館(小中学生親子対象)

- 4月16日(日)「豪族勾玉作り・古代衣装で豪族なりきり体験」
- 5月21日(日)「江戸時代の古銭づくり」
- 6月11日(日)「縄文時代のかごづくり」
- 7月30日(日)「弥生時代の銅剣形ペーパーナイフづくり」
- 8月13日(日)「縄文時代の石製耳飾りペンダントづくり」



豪族に見えるかな?



陶器に染め付け



石膏とは思えない出来栄!



かごづくりに夢中

考古博 de
企画展
4月▶8月



城と城下町(想像図)



力作ズラリ!土偶 de お絵かき



4月22日(土)



6月11日(日)

春季企画展「甲府城下町の賑わい」

甲斐国の政治・商業の中心地として位置づけられ、甲州街道の宿場町としても盛っていた甲府城下町の賑わいを豊富な出土品から紹介しました。金の生産に関わる資料や良質な陶磁器など、当時の繁栄を物語る貴重な発掘成果をご覧くださいました。

7月15日(土)



8月27日(日)

夏季企画展「考古博の土偶 ～縄文王国の土偶大集合～」

考古博物館で所蔵している500点以上もの土偶コレクションを一挙に公開!夏休み期間中の開催に合わせて、子ども向けの「土偶 de お絵かき」コーナーや、素朴な疑問に答えるパネルなど用意し、面白くもふしぎな土偶ワールドをご紹介します。

考古博 de
学芸員実習

8月1日(火)



8月11日(金)

8月1日(火)～11日(金)の10日間、大学生のみなさんを対象とした学芸員実習を行いました。今年度は4名の学生たちが訪れ、実際の学芸員の働く様子を学んでいきました。

～実習の感想～

- ・いかにわかりやすく来館者に伝えるか、情報の取捨選択が大切だと感じた。
- ・限られた予算の中で、自分で作れるものは作るなど工夫をこらしている様子がかがえた。
- ・博物館を内部から見たことで、今後は利用者としても今まで以上に貢献していきたいという気持ちが強くなった。



梱包難しい…?



細かい整理作業

考古博 de
職場体験

考古博物館では中学・高校生のみなさんを対象に職場体験の受け入れを行っています。今年度もこれまでに6校17名の中学生たちが体験に訪れ、考古博物館と県埋蔵文化財センターでの仕事に挑戦してくれました。



時には力仕事も!



展示解説に挑戦。



募集中



考古博 de 職場体験しませんか?

考古博物館と県埋蔵文化財センターでは、引き続き職場体験に参加される生徒を募集しています。本体験では、考古博物館イベントの補助や展示解説、バックヤード見学のほか、埋蔵文化財センターでの遺物洗浄や整理、発掘体験など、さまざまなことに挑戦していただけます。参加者のみなさんの希望する期間に合わせて予定を調整いたしますので、お気軽にご相談ください。【お問い合わせ: 055-266-3881 (学芸課)】

企画展

12月9日(土)～平成30年1月28日(日)

冬季企画展「甲斐市の出土品Ⅱ」

平成30年1月2日(火)～28日(日)

「新年干支展」

平成30年2月10日(土)～3月4日(日)

「第15回わたしたちの研究室・研究成果展示会」

平成30年2月11日(日)～28日(水) 「富士山ミニ展示」

平成30年3月3日(土)～4月8日(日)「風土記の丘望見展」【風※】

平成30年3月10日(土)～4月8日(日)「山梨の遺跡発掘展」

※会場：風土記の丘研修センター(以下【風】)

10月14日(土)

第4回「躑躅ヶ崎館(武田氏館)の天守台の謎」

12月16日(土)

第5回「武田氏を支えた土豪たちの世界」

平成30年2月24日(土)

第6回「武田氏と金山衆」 ※事前予約不要、全回午後1時30分～3時【風】

講館 座長

イ ベ ン ト

10月15日(日) 秋のふれあい・第29回風土記の丘こどもまつり【風】

11月12日(日) 風土記の丘探検隊(要予約 ※開催日の1ヶ月前から受付)

11月20日(月) 県民の日イベント「古墳時代へようこそ！」

平成30年1月3日(水) お正月イベント

平成30年1月14日(日) 古代米でもちつき【風】

平成30年3月4日(日) 考古博物館 de 春まつり

づ も く の り

原始古代の技に学ぶ(16歳以上対象) ※要予約(開催日の1ヶ月前～定員になるまで)

◆9月3日(日)・23日(土)

「環頭大刀飾りキーホルダー作り」

◆10月29日(日)・11月4日(土)

「須恵器作り」

◆12月10日(日)・16日(土)・

平成30年2月3日(土)・11日(日)

「青銅鏡形チョコレート作り」

◆平成30年1月13日(土)・20日(土)・2月4日(日)

「縄文土器作り」

◆平成30年3月3日(土)

「草木染め」

◆平成30年3月11日(日)

「土偶・古墳形クッキー作り(親子・一般)」

TEL055-266-5286【風】

チャレンジ博物館(小中学生親子対象)

◆9月10日(日)「はにわづくり」

◆10月8日(日)・9日(月祝)

「石包丁づくり・古代衣装で収穫体験」

◆11月5日(日)「須恵器づくり」

◆12月3日(日)「干支の土鈴づくり」

◆平成30年1月14日(日)・21日(日)・

2月4日(日)「縄文土器づくり」

◆平成30年2月18日(日)

「わたしの火起こし機づくり・火起こし体験」

◆平成30年3月18日(日)「縄文土偶づくり」



第15回わたしたちの研究室

作品を募集
します!

考古博物館では、小中学生を対象に歴史・考古学分野に関する研究成果を募集しています。これは身近な郷土の歴史を学び、その研究成果を表彰・発表する機会を設けることで、児童・生徒のみなさんの考古学への興味・関心を深めるきっかけを作るとともに、自ら考え、まとめる力をつけることで「調べ学習」から一歩進んだ主体的な研究活動につなげる機会を提供することを目的としています。本研究室では、実際に現地へ赴き、自分の足で調査・考察する過程を重視しています。学校や家を飛び出して、ぜひ本物と出会い、触れた実体験を通して自由な発想で研究してみてください。

部門：(1) 個人研究部門 小学校の部および中学校の部

※数名のグループの作品等は個人研究部門とします。この場合「総合的な学習の時間」等において取り組んだ2~3人の作品等を含みます。

(2) 団体研究部門

学級・学年・学校(部活動等を含む)で取り組んだ作品等、または統一したテーマのもとで取り組んだ児童・生徒の個人の作品等を取りまとめたもの、もしくはその指導過程をまとめたもの。

募集期間：平成29年10月4日(水)~12月3日(日)

表彰：各部門それぞれ、最優秀賞1点(山梨県教育委員会教育長賞)、優秀賞(山梨県考古学協会会長賞)2点

努力賞(山梨県立考古博物館長賞)若干、奨励賞(わたしたちの研究室選定委員会委員長賞)若干

表彰式：平成30年2月10日(土) 考古博物館エントランスホール(上位受賞者は表彰式後、作品等の発表をしていただきます。)

展示期間：平成30年2月10日(土)~3月4日(日) 考古博物館企画展示室

○作品等は展示会終了後に返却しますので、3月6日(火)以降に引き取りに来館してください。その際に参加賞などを併せてお渡します。

○各部門の最優秀賞・優秀賞に選定された作品等は、以降1年間、当館の事業等で紹介いたしますので、引き続きお預かりします。

その他：①「応募申込書」(様式1)、「展示用説明書」(様式2)は、当館ホームページからダウンロードできます。

②昨年度の様子は当館ホームページにて公開しています。

③学校から応募されたものはすべて学校を通してご連絡します。ただし、報道機関等から対応を求められた場合もしくは当館からの簡単な事務連絡等は、直接連絡することがあります。

考古博物館・風土記の丘研修センター利用のご案内

山梨県立考古博物館 TEL 055-266-3881 FAX 055-266-3882

風土記の丘研修センター TEL 055-266-5286 FAX 055-266-5287

開館時間 午前9時から午後5時まで
ただし、入館は午後4時30分まで

休館日 毎週月曜日(祝祭日の場合は翌日)、祝日の翌日
12月29日から1月3日

休館日 毎週月曜日(祝祭日・振替休日を除く)
祝日の翌日(日曜日・祝日を除く)
平成30年1月9日(火)~14日(日)
特別展の準備・撤去作業のため9月26日(火)~10月3日(火)、11月24日(金)~11月29日(水)は臨時休館いたします。

観覧料 個人210円、団体(20名以上)170円
(常設展)

※次の場合観覧料が免除になります

- ・65才以上の方(ただし、特別展は県外の方を除く)
- ・障害者手帳をお持ちの方・付き添いの方(1名まで)
- ・小・中・高校生
- ・県民の日(11月20日)

県内の学校(団体)の利用について

- ・教育課程(小・中学校、高等学校、特別支援学校)で入館される場合は事前に見学の申し込みをお願いします。
- ・見学時間を充分にとり、ゆっくりと見学できるようにしてください。
- ・できるだけ下見をし、担当と打ち合わせをしてください。

学校見学の申し込みと問い合わせ先
055-266-5286 風土記の丘研修センター

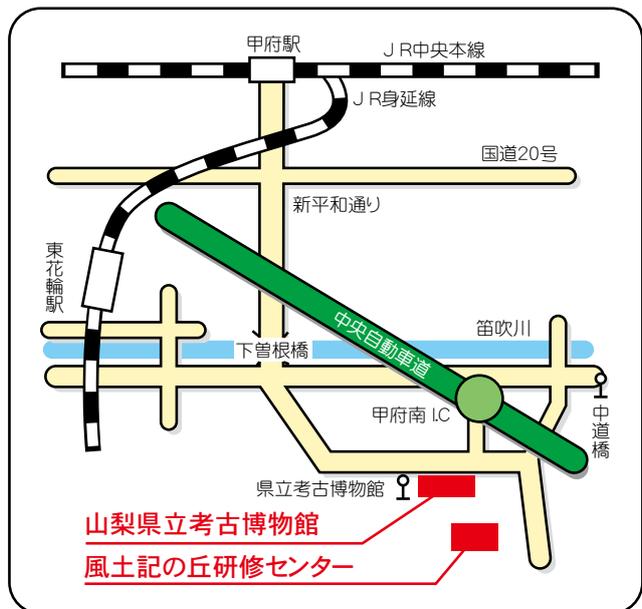
交通

(1) 路線バスの利用

- ・甲府駅より豊富行(中道橋経由) - 「県立考古博物館」下車
- ・甲府駅より市立甲府病院行 - 市立甲府病院で下車乗り換え・富士急平和観光バス古閑町行 - 「風土記の丘農産物直売所」下車

(2) 自家用車の利用

中央自動車道甲府南インターチェンジ前



山梨県立考古博物館

風土記の丘研修センター

平成29年度上半期の活動をお知らせする考古博物館だより84号をお届けします。10月から始まる第35回特別展「ひつぎのヒミツ〜棺から読み解く古墳時代〜」では、意外と知られていない棺(ひつぎ)の秘密にせまりながら、みなさんをいまだ謎多い古墳の時代へご招待します。古代の人々が紡ぎ出した生と死の物語をぜひご堪能ください。(あ)

* 発行日 平成29年8月25日
* 発行 山梨県立考古博物館
* 住所 〒400-1508 山梨県甲府市下曾根町923
* 電話 055-266-3881(代)
* 印刷 株式会社 峡南堂印刷所